

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	江東区南砂4-18-4第2ユタカビル1/2F
施設名	ルーチェ保育園南砂

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

せかい

〈テーマの設定理由〉

オリンピックイヤーということもあり「せかい」をテーマにかかげ、子供たちが見たり聞いたりしたことからいろいろな「せかい」に興味をもってもらえるようにカリキュラムに落とし込んでもらった。

2 活動スケジュール

6月 いろいろな素材のせかい（質感）
7月 いろいろな素材のせかい（触感）
8月 いろいろな素材のせかい（感触）
9月 いろいろな素材のせかい（のりをあつかう）
数量のせかい（音をきく）
10月 数量のせかい（いろをあわせる）
12月 数量のせかい（つむ）
1月 くさばなのせかい（ふゆ）
2月 くさばなのせかい（ふゆ～はる）
3月 くさばなのせかい（はる）

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

クレヨン 絵具 画用紙 折り紙
車作りのための廃材（紙パック、ペットボトルのキャップ、竹串など）
標識カード 部屋にビニールテープで道路を作る。作った車を片付ける場所（立体駐車場）
踏切の手作り玩具

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

いろいろな素材を探究する中で、質感や感触、形の違いや色の違いに気づき子どもが興味を持った車のせかいについても探究した。
車の玩具遊びから交通ルールや標識に興味を持ち、街探検に発展し、標識や看板、消火栓、カーブミラー、踏切などに興味を持っていた。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

- ・踏切を見ていたら1日3回しか通らない電車に遭遇し、子どもたちは大興奮
- ・車づくりで使用するキャップの色分けでは同じ色でも少し透けてるなど微妙な色の違いに気づける姿もあった



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・環境を整えることで子どもが落ち着いて安全に過ごせることを体感し子どもたちの興味に合わせて日々環境を変えていく大切さを改めて感じた
- ・くるまのせかいを探究したことにより部屋中に走らせていたトミカ（車の玩具）を道路を設置し、交通ルールを守って遊ぶ姿が多くみられるようになった